

編集後記

日々の生活で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のニュースを見聞きしない日は最早ありません。振り返りますと、この編集後記でも過去5号に亘ってコロナ禍に何らか言及しており、正に「withコロナ」の日常が続いているのだと改めて実感します。そうした中、ようやく日本でもワクチン接種が始まりました。これまで、感染拡大による社会経済への影響も甚大でしたし、「緊急事態宣言」も過去3度発令されました。ワクチン接種が順調に進み、早く落ち着いた日常へ戻れればと期待しています。

さて、本号ではまず巻頭の【随想】にて、兵庫県立大学教授の室崎益輝先生に、巨大地震時における火災の被害想定に関するご寄稿を頂きました。防災工学の第一人者である室崎先生からは、大都市地震火災の想定におけるご懸念を具体的に幾つかご説明頂いたのち、地震火災対策の強化に向けたご提言を頂きました。

次に【技術報告】では、2編のご寄稿を掲載させて頂きました。1編目は共英製鋼（株）の山崎敦様ほかに、同社の熱間鍛造加工による機械式定着鉄筋に関して、おもに構造性能に関する検討内容をご紹介頂きました。同製品を用いた「ステッキバー」については、当法人の建築技術性能証明を取得されています。また、2編目は、（株）INA新建築研究所の

北伸一朗様ほかに、大阪府高槻市に整備された「安満遺跡公園パークセンター」に関するご紹介を執筆いただきました。なお、同公園内の幾つかの建物については、当法人において構造計算適合性判定を実施させて頂きました。

【試験・研究】では、当法人構造試験室の加藤百合子様により、木造耐力壁の構造実験における挙動の解析事例を紹介させて頂きました。画像処理計測用カメラ3台を用いて各部変位を3次元計測する新しい技術が応用されています。また、当法人耐震耐久性調査室の春畑仁一の学位論文の要約を掲載いたしました。同学位論文は、火災後の火害部コンクリートの強度低下と調査方法に関する内容です。今回の博士学位取得は、忙しい本務の傍ら自主共同研究などを通じて研究活動に取り組んだ成果であり、私たち当法人の役職員にとっても誠に喜ばしい限りです。

最後になりましたが、ご多用中に係わらずご執筆にご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

（広報委員長 田中 学）

広報委員会（編集）

委員長	田 中 学（試験研究センター 建材部）
副委員長	下 澤 和 幸（試験研究センター 構造部 耐震耐久性調査室）
	中 野 美 奈（建築確認評定センター 建築確認評定部 性能評定課）
委 員	市 岡 有香子（試験研究センター 数値解析室）
	吉 田 夏 樹（試験研究センター 建材部 材料試験室）
	豊 田 康 二（試験研究センター 耐火部 評価業務室）
	五十嵐 千津雄（製品認証センター 認証部 審査課）
	永 田 洋 一（建築確認評定センター 建築確認評定部 性能評定課）
	長 岡 未優夏（構造判定センター 構造計算判定部 業務課）
	猪 野 美 裕（事務局 総務部 総務課）
事務局	松 浪 良 夫（事務局 総務部 業務課）
	武 平 真依子（事務局 総務部 業務課）

（2021年度広報委員会）

GBRC Vol.46 No.3, 2021.7 (185号)

2021年7月1日発行（季刊）

発行所 一般財団法人日本建築総合試験所
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-8-1

TEL：06-6872-0391 FAX：06-6872-0784 URL：https://www.gbrc.or.jp

編集発行人 小南 和也

本誌に関するご意見、ご感想、送付先の変更等は、事務局（E-mail：kikaku@gbrc.or.jp）までお送りください。

本誌を転載する場合は、必ず発行所の許可を得てください。